

第18号

地域・家庭・学校をつなげる新聞!

熊谷ひみつ新聞

Kumagaya Secret Newspaper

公益社団法人 熊谷青年会議所 12,800部発行
 熊谷市宮町2-39 熊谷市立商工会館内
 電話 048-524-0440
 FAX 048-524-0519
 http://www.kumagaya-jc.or.jp/ **JCI**

後援 熊谷市 熊谷市教育委員会 熊谷商工会議所
 印刷 株式会社ピーアイピー 熊谷市筑波1-157-2 電話 048-524-1463

テーマ

誰かに話したくなる熊谷自慢VOL.2

もくじ
 熊谷の子ども達はこれができる! 1ページ
 翔んで熊谷!! 2ページ
 熊谷童話 神様の力比べ! 3ページ
 映画にもなった日本で初めての女性医師 4ページ

朝ごはんをしっかり食べる。

熊谷の子ども達はこれができます!

4つの実践!

- ①朝ごはんをしっかり食べる。
- ②呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- ③「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- ④友だちをたくさんつくる。

朝ごはんをしっかり食べて学校に来る子は、学校の勉強もよく頭に入っている。ラグビー選手も一緒に、朝ご飯を食べないと、頭が働かなくてラグビーで一番大事な冷静な判断力が出来なくなってしまうんだって。3食ちゃんと食べることで、

熊谷の子ども達はこれができます!

4つの実践とラグビー選手のつながり

みんなが学校で実践している4つの実践。実は、ラグビー選手も実践し、大切にしていることなんだ!今回は、みんなの4つの実践運動とラグビーの繋がりについて迫ってみるからね。



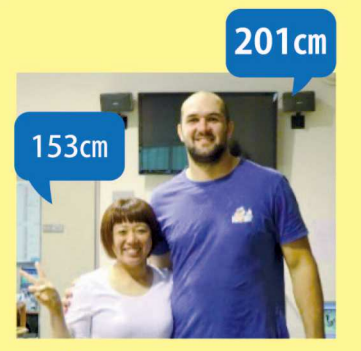
腕の太さは、50cm~55cm! みんなのお腹回りと同じぐらいだよ。

太ももの太さは、約70cm。みんなが使っている30cmのものさし2つでもまだ足りないね。

ラグビー選手は、練習の集合時間や話しを聞くときは仲間と肩を組んで、「ごめんなさい」「ありがとう」と言う。みんなは、「ありがとう」と言う。

ラグビー選手は、練習の集合時間や話しを聞くときは仲間と肩を組んで、「ごめんなさい」「ありがとう」と言う。みんなは、「ありがとう」と言う。

「ごめんなさい」ってちゃんと言ってるよね。ラグビー選手もいろいろな話し合いの中や練習中、試合中でも「ありがとう」「ごめんなさい」は、すぐに言葉にして伝えていっているんだよ。言葉にすることでチームの



取材に行ったときにお友達になったよ!

んだって。みんなでボールを使って走る練習をすることで、チームの選手全員の足が速くなるってすごい練習方法だよ。

ワンフオーオール オールフオーワン!

「一人はみんなのために、みんなは一人のために」4つの実践がラグビー選手にとっても、大事なことがわかったね。みんなが実践している自慢を、これから継続してがんばっていきましょうね!(記者:石川奈津美・小島一浩)

調べてみよう! 聞いてみよう!

8人の選手が力を合わせてスクラムして動かすことのできた、大きな乗り物は何でしょう?

答えは熊谷青年会議所のホームページにアクセス!

理事長のつぶやき

ラグビーワールドカップが始まりました!新しくなった熊谷ラグビー場で行われる迫力満点の試合も楽しみですが、おじさんには気になることが一つ...

熊谷にも日本中、世界中から沢山の人がお越しになっていますが、その中には、きつと初めて熊谷に来たという人もいますよね。お越しになる人達にとって、熊谷のどんな所が、どんなコトが、どんなモノが好きだと感じてもらえるのか...今、凄く気になります...

「熊谷の〇〇を好きになって欲しい!」と思った〇〇こそ皆さんにとっての「熊谷自慢」です!「〇〇を好きになって欲しい!」という皆さんの思いが、間違いなく熊谷をもっともっと良いまちにしていく原動力となります。皆さんは熊谷を良くする主役です!これからもおじさん達と一緒に熊谷の未来を描いていきましょう!一年間ありがとうございました!



公益社団法人 熊谷青年会議所
 理事長 出井 計多

翔んで熊谷!!

大空を舞うグライダー

皆さんはグライダーを知っていますか？実はこの熊谷市ではグライダーがとても盛んな地域として知られているんだ。

熊谷の空を見上げてみよう!!

皆さんは、熊谷の空を見上げたりしますか？実は熊谷の空にもたくさん自慢があるんだ。そんな自慢の一つ、熊谷の大空を舞うグライダーの秘密を今日は探っていくね!!

グライダーって何?!

グライダーとはエンジンもプロペラも使用せず空を飛び、一人または二人乗りで行うスポーツなんだよ。(注:モーターグライダーと呼ばれるグライダーにはエンジンが付いています。)エンジンが付いていないって事は自分の力だけでは空を飛べないんだね。

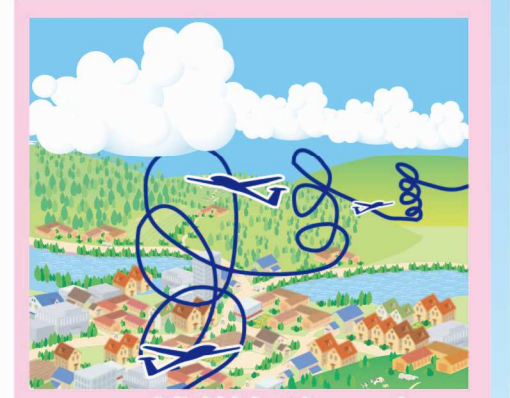


妻沼滑空場のグライダー

エンジンがない!? どうやって前に進むの!?

飛行機はエンジンがついているから上昇する事が出来るけど、エンジンがないグライダーは水平飛行が出来ないんだ。

なので積雲と呼ばれる雲と地上の間に発生する上昇気流を利用して高度を獲得するんだ。そしてその高度を利用して滑空し、遠くまで飛ぶことが出来るんだよ。

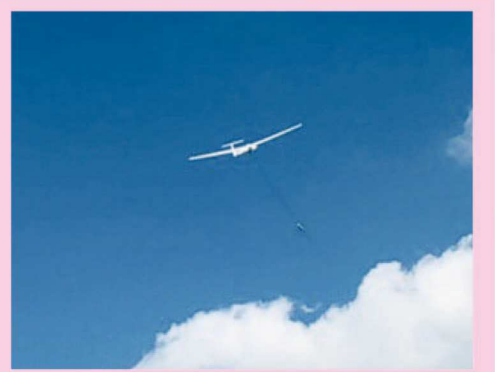


イメージ: 上昇気流を捕まえて飛ぶ!!

妻沼グライダー滑空場のココが凄い!! 実は日本一!?!

この熊谷市はグライダーをするのにとっても恵まれていているんだ。気象条件が揃っていて実は年間晴天回数が日本一であることから、グライダーの滑空時間、飛行回数は日本一なんだって!! その回数なんと約二万回!! 二位の木曾川滑空場でも約五千回だからいかに熊谷が、グライダー飛行が盛んだか分かるよね。良く晴れた日には妻沼の滑空場でグライダーが飛んでいるかもしれないね!! 実際に友達や保護者と一緒に妻沼の利根川の土手で見て

行ってみてね!!



熊谷の大空を舞うグライダー

調べてみよう! 聞いてみよう!

エンジンのないタイプのグライダーはどうやって空に飛び立つのかな?

答えは熊谷青年会議所のホームページにアクセス!

(記者・荻野大輔・新井祐助)

お詫びと訂正
第17号熊谷ひみつ新聞において左記の通り誤りがございました。

第1面 走れ!!熊谷の自慢の

本文4段目

「秋には、熊谷の小麦が金色に光り輝く中勇敢に走り抜けるよ。」
「秋になると米作りの盛んな熊谷では、稲穂が金色に色づく中勇敢に走り抜けるよ。」

※熊谷の小麦は秋ではなく、6月頃に黄金色になり収穫が始まります。

リクエスト結果コーナー

前回の新聞で、みんなに書いてほしいテーマをリクエストしたのをおぼえてるかな?ここでは結果を発表するぞ!

リクエストで多かったのが日本初の女医『荻野吟子』や『熊谷がなぜ日本一暑いのか』他には『ムサシトミヨ』など多くのリクエストを送ってくれてありがとう。

そして一番多かったリクエストは『食べ物』に関するものでした! その中でもなんと熊谷名物の『五家宝』がだんとつで多かったよ。『五家宝』のことはみんなも良く知ってるかもしれないけど実はまだまだ知らないことがあるかも。

では次のページではみんなの大好きな『五家宝』のヒミツをもう少しあばいてみよう!

新聞テーマリクエスト募集コーナー

次号の熊谷ひみつ新聞19号で記事にしてほしいテーマを募集します!

みんなが知りたいと思う身の回りの「もの」や、「歴史」、「人物」など、熊谷に関わることで、身近なテーマなら何でもオッケーです。リクエストしたい人は担任の先生に伝えて応募してもらおうか、このQRコードからお家の人と一緒に応募してね。



みんなが応募してくれたテーマの中から、どんな記事が出来上がるか19号も楽しみにしていてね!



神様の力比べ

昨年、熊谷市が再び暑さ日本一の町になったね。なんと、この暑さは3人の神様の仕事だったのです！

3人の神様 熊谷へ

2018年7月。カイセイ、ウミカゼ、ヤマカゼという神様が熊谷に遊びに来ました。

ヤマカゼが昼寝を始めるのと、カイセイとウミカゼが何やら話し始めました。

「晴れの日が続けば、地面がどんどん熱くなり、熊谷は熱くなった地面が冷える前に朝になり、どんどん暑くな



る。晴天を操る僕が一番熊谷を暑くできるのさ。」とカイセイ。

ウミカゼは、「そんなの、海風が吹きこめば涼しくなっちゃうわ。海風を操る私こそが熊谷を暑くで



きるのよ。」と返しました。

「それなら力比べだ！」

「受けて立つわ！町をより暑くできた方が勝ちね！」

カ比べスタート!

カイセイは晴れの力を解放しました。雨が逃げ、

熊谷は夜も気温が下がりません。

ウミカゼは海からの風におまじない！涼しい風が届かなくて、熊谷はずっと暑いまま。

何日か38度の日が続きますが、なかなか決着が付きません。

2018年7月23日。ヤマカゼがぱつと起きて杖を一振り。山からの

風がびゅうつと吹いて、気温が急上昇!

「参ったー！ここまで暑くなった決め手は、ヤマカゼの力だなあ。」

「あら？やり過ぎちゃったみたい。熊谷の気温が41.1度になっちゃったわ！子ども達は大丈夫かしら？」

暑さに負けない!



3人がのぞいてみると、熊谷の子ども達は木陰や建物の中で涼んだり、こまめに水分補給をしたり。おいしいかき氷も楽しんでいました。

「熊谷の子ども達は暑さに負けてないなあ。」

みんなが暑さ対策をきちんとしていたので、神様たちは感心して帰って行きました。

(記者:小林和也・猪原英和)

調べてみよう! 聞いてみよう!

熊谷が日本二になった日の、暑さの理由を3つ探してみよう!

答えは熊谷青年会議所のホームページにアクセス!

うぐいす色はレア食材!?

みんなからのリクエストにお応えして、五家宝の秘密をレポートするよ。みんなは五家宝には「黄色」と「うぐいす色」の2種類存在することをしているかな?多くの方が抹茶味だと思っている「うぐいす色」には、「青大豆」を使用しているものがあるんだ。



「青大豆」は熊谷周辺でも昔は作られていたけど、育てるのが難しく今ではあまり作られていないんだ。

この「青大豆」で作った五家宝は普通の大豆に比べて低カロリーでさっぱりとした上品な甘さが特徴なんだって。でも、「うぐいす色」をきれいに出すのが難しく、豆を煎る作業には、お菓子職人さんの腕が試されるらしいよ。美味しい五家宝を作るために職人さんは伝統を守り、味や技術を日々磨いているんだね。



「黄色」と「うぐいす色」の五家宝を食べ比べて自分のお気に入りの味を探してみよう!

(記者:中島寛・山田廣和)



※荻野吟子肖像画

熊谷に、日本で初めて女性のお医者さんになった人がいるってみんな知ってるかな？女性医師第一号の荻野吟子さんは、160年以上も昔の1851年に、現在の熊谷市俵瀬で生まれたんだ。今は、日本に女性のお医者さんは全体の20%位（5人に1人）と増えてきたけど、その当時は女性がお医者さんになることは許されていなかったんだ。その様な厳しい時代に、吟子さんは自身の大病

昔、日本に女性の
お医者さんはいなかった

映画にもなった日本で
初めての女性医師

荻野吟子さん

がきっかけで、お医者さんになるうと決意したんだよ。



※荻野吟子記念館

女性一人の学生時代
毎晩遅くまで猛勉強

当時の医学校は、吟子さん以外は全員男性。もちろん、教室には男性しかおらず、トイレも男性用を使わなければならなかった。その中で、女性として目立たないように、男性用の袴に高下駄をは

夢に向かって
GO! GO!! GO!!!

き、髪は短くし、男装して通っていたんだ。また、授業の時は一番前の席に座り、ひたすら勉強に打ち込んでいたそうだよ。高い学費を払うために家庭教師の仕事をし、毎日2時間以上かかる道のりを通い続けていたんだ。家に帰ってからも遅くまで勉強をし、毎晩、吟子さんの部屋からはあかりがこぼれていたそうだよ。その姿を見て胸を打たれた周りの人たちの応援もあって、吟子さんはついに国家試験の受験が許され、合格をし、女性医師になれたんだ。夢を叶えるのに15年間、努力を続けたんだよ。

みんなは、将来の夢を持っていてるかな？吟子さんの様に、どんなに厳しい状況でも決して諦めずに強い意志を持って努力をすれば、必ず道は開けてくるんだ。周りの応援してく

調べてみよう！
聞いてみよう！
吟子さんはある才能があつて、それを披露し、周りの人々を笑顔にしていたそうだよ。その才能とは何か？
答えは熊谷青年会議所のホームページにアクセス！



れている家族や友達への感謝の気持ちを忘れずに、夢に向かって努力・挑戦していこう！

クロスワード
A～Eのマス
の文字を
入れると
どんな
文章に
なるか
かな？
答え
A B C D E

クロスワード
ヨコのカギ
タテのカギ
よこ1 熊谷次郎直実の父親は○○○○○○○○○○という人だよ。熊に立ち向かったと言われて
いるね。第17号熊谷ひみつ新聞の第3面を読んでみよう！
よこ2 2018年7月23日、熊谷市は41.1℃を記録した事で再び○○○○○○○○のまちになったよ。
よこ3 4年に1度開催される○○○○○○○○が、ここ熊谷でも開催されるよ。
たて1 荻野吟子さんが生まれたのは今の○○○○○○○○だよ。
たて2 熊谷で昔作られていた幻の○○○○。五家宝の原料にも使われているけども今ではあまり
作られていないんだね。
たて3 熊谷市でライダーが飛び立つ滑空場は、○○○○○○○○滑空場というところだよ。保護者や
友達と一緒に行って見てね。
たて4 第17号熊谷ひみつ新聞の第4面に出てくる梅澤 拓さんは、熊谷の綺麗を守る○○○○なんだね。

いいねひみつ新聞
QRコードのリンク先に飛んで頂くと熊谷青年会議所のホームページに「調べてみよう！」のコーナーの答えや、過去の熊谷ひみつ新聞がのっているよ！保護者の方とみてみよう！
〒360-0041 熊谷市宮町2-39 熊谷商工会館内
公益社団法人 熊谷青年会議所
HP : <http://www.kumagaya-jc.or.jp/>
メール : info@kumagaya-jc.or.jp
熊谷青年会議所 検索

編集後記
保護者の皆様、第18号熊谷ひみつ新聞をお読みいただき、ありがとうございます。今回の新聞ではアンケートから、リクエストの多かった記事を取り上げております。興味がいっぱい！是非リクエストをお願いします。
前回、知的好奇心を満たし、そこから探究心を持ち自発的な行動を促せるよう努めていると記載を致しました。なるべく情報の羅列にならずに情景を思い浮かべられるように、より知りたいと調べられるように作成しております。この「調べる」という行動が大事であると思います。[easy come,easy go]という言葉がございます。パソコン等で簡単に調べたものは他の情報に埋もれがちです。皆様も苦労して調べた事は忘れていないでしよう。だからこそ、原理を知ること、実体験をすることがとても大切であると考え、新聞の発行そして寺子屋事業を私たちは行っております。
例えば、20年後ある青年が輝かしい功績を残したとします。その際に「小学校の時に読んだ新聞、体験した寺子屋での分野に興味を湧いたのがきっかけです」という言葉をいただければこれ以上の幸せはございません。子どもが夢に向かって進んでいく振り幅を私達が少しでも担えれば幸いです。
編集長 棚澤 浩一